

取扱説明書

モタロウ モノタロウのオトシニクイ台車 モノリー

注文コード: 65192165/65192174/65192183/
65192199/65192208/65192217

このたびは、モノタロウのオトシニクイ台車 モノリーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。
いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

警告 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

注意 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「ケガや傷害を負うこと、製品の破損やそれに伴う財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

ご使用上の注意

【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。
また、本製品の分解・改造・修理は、決して行わないでください。

警告

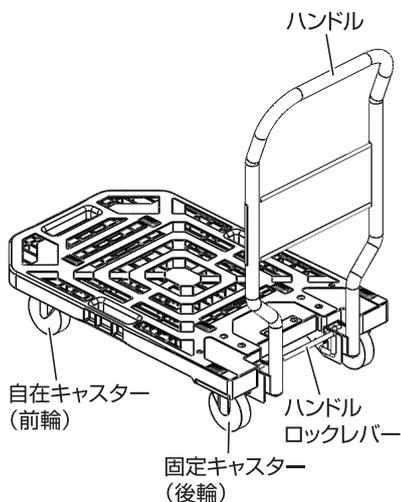
- 本来の用途以外には使用しないでください。
- 人や動物など荷物以外のものは載せないでください。
- 均等荷重以上の重量物を載せないでください。
- 荷物は荷重が片側だけにかからないように均等に載せ、衝撃が加わるような走行はしないでください。
平らな場所に置いて、ゆっくりと荷物を載せてください。
- 持ち手ハンドルの高さ以上に荷物を載せないでください。重心が高くなり台車が転倒するおそれがあります。
- 荷物を載せて急旋回しないでください。
- 台車に足をかけたり、乗ったりしないでください。台車が転倒して、積載物が落下しケガをするおそれがあります。
- 不安定な場所を走行させないでください。台車が転倒して、積載物が落下しケガをするおそれがあります。
- 斜面や凹凸のある不安定な路面での使用、保管はしないでください。
- 荷台からはみ出した積み方や使用はしないでください。
- 小さなお子様の手が届かない場所に収納し、必ず大人の方が常に管理できる状況でご使用ください。

注意

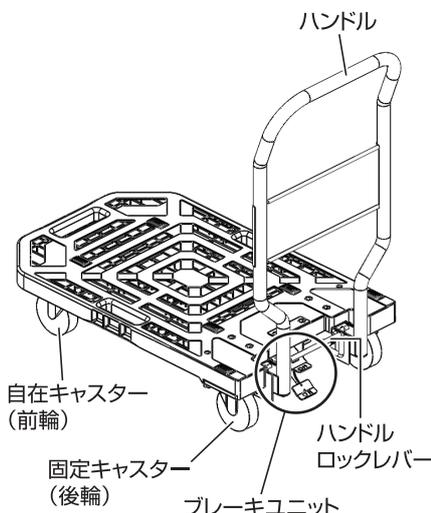
- 台車を自走させないでください。必ず人が必ずハンドルを持って操作してください。
- 側面や正面から大きな衝撃をかけないでください。また台車に衝撃を与える載せ方をしないでください。
台車が破損、転倒しケガをするおそれがあります。
- ハンドルは、しっかりと立てた状態で使用ください。
- ボルトレスパーツやボルトが外れたまま使用しないでください。
- ボルトレスパーツがしっかりと嵌っている事を必ず確認ください。
- ボルトの緩みがないか、定期的に点検してください。緩みがある時は、増し締めをしてください。
- ハンドルにもたれかからないでください。
- 使用しないときは自走のおそれがない安定した場所に保管してください。
- 屋外や雨風の当たるところでの使用、保管をしないでください。台車の損傷、腐食の原因になります。

2 各部の名称

【ブレーキ無し】



【ブレーキ有り】



仕様

製品サイズ (使用時)	幅:490×奥行:878×高さ:864mm
製品サイズ (折り畳み時)	幅:490×奥行:780×高さ:255mm
天板高さ	170mm
有効積載サイズ	490×780mm
積載荷重	均等荷重200Kg
キャスター径	100mm

※ 上記の仕様は、予告なしに変更することがあります。

3 使い方

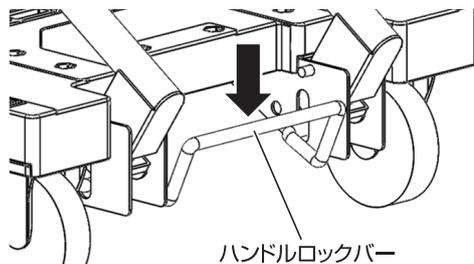
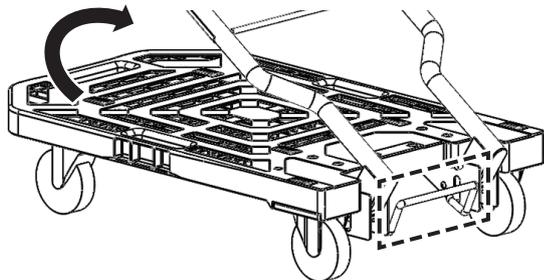
■ ハンドルの起こし方、倒し方

▼ 起こし方

- 1 ハンドルロックバーを踏みながらハンドルを最後まで起こします。
- 2 ハンドルを起こした後は、ロックが掛かった事を必ず確認ください。

⚠ 注意

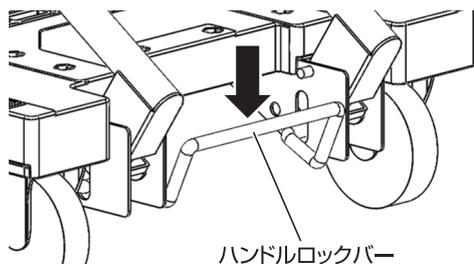
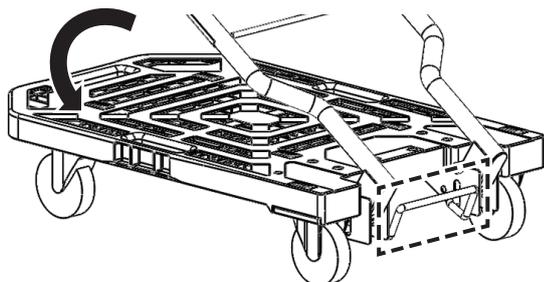
- 天板の先端を踏んで、ハンドルを持ち上げるのは、破損の原因になりますのでしないでください。
- ※ ハンドルが勝手に起き上がらない様に、ハンドルロックバーを踏まないで起こす事が出来ない仕様になっています。



※ハンドルロックバーを踏んだ状態で作業を行います。

▼ 倒し方

- 1 ハンドルロックバーを踏みながらハンドルを最後まで倒します。
- 2 ハンドルを倒した後は、ロックが掛かった事を必ず確認ください。



※ハンドルロックバーを踏んだ状態で作業を行います。

■ ブレーキ操作方法

▼ ブレーキを掛ける時

下図の赤いペダル「ON」を踏んでください。踏んだ後は、ブレーキが掛かった事を必ず確認ください。

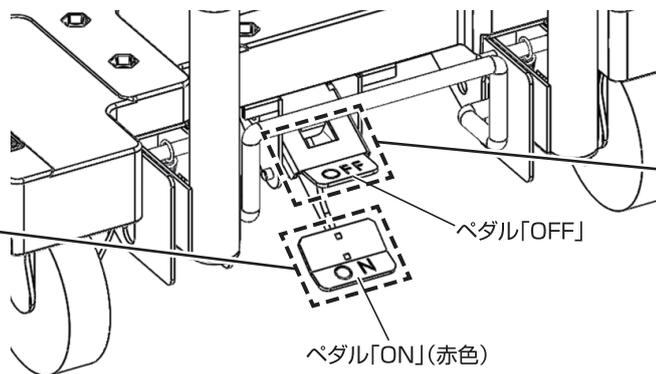
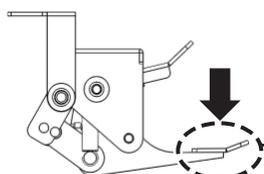
▼ ブレーキを解除する時

下図のペダル「OFF」を踏んでください。踏んだ後は、ブレーキが解除された事を必ず確認ください。

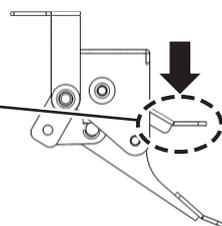
⚠ 注意

- 傾斜面でブレーキを掛けて放置しないでください。旋回して事故の原因になります。
- ブレーキの効きが弱くなった場合は、アジャスターボルトで調整してください。

【ブレーキを掛ける時】

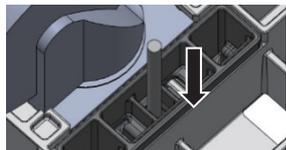


【ブレーキを解除する時】

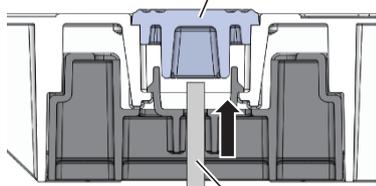


■ キャスター交換方法

1 天板の裏側から棒を挿して滑り止めゴムを外します。(ドライバーなどで押し出してください)

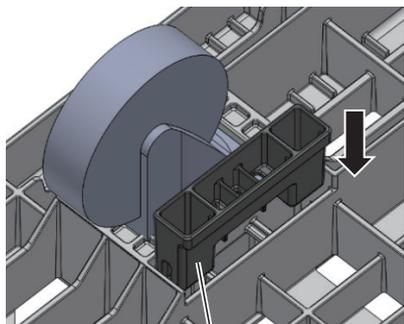


滑り止めゴム



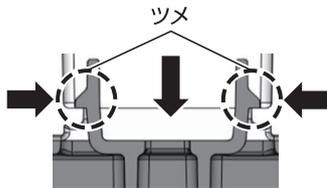
棒(ドライバーなど)

4 新しいキャスターを差し込んだ後は、ボルトレスパーツの向きに気を付けてツメが掛かるまで嵌め込みます。

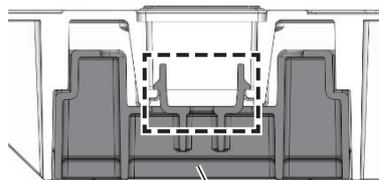


ボルトレスパーツ

2 天板の表面からボルトレスパーツの2つのツメを内側につまみながら下に押し出します。

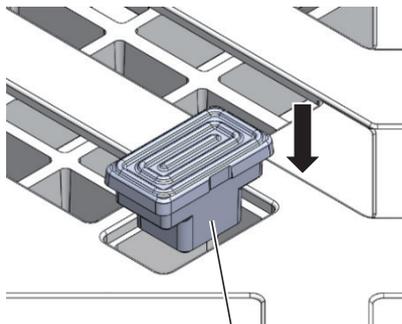


ツメ



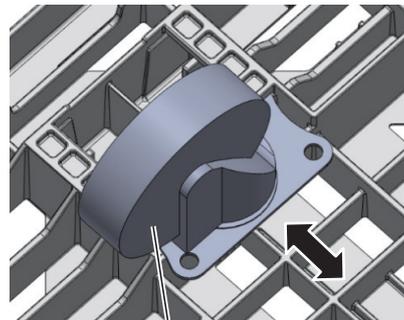
ボルトレスパーツ

5 ボルトレスパーツを嵌めた後は、天板の表面から滑り止めゴムを最後まで押し込みます。



滑り止めゴム

3 キャスターをスライドして外し、新しいキャスターと交換します。



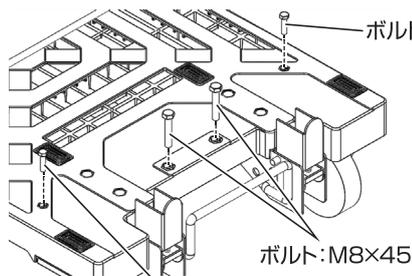
キャスター

⚠ 注意

- キャスターは、使用するにつれてタイヤがすり減ります。状況に応じてキャスター交換を行ってください。
- 交換には、滑り止めゴムを外すために棒(ドライバー)などや、交換後に滑り止めゴムを押し込む際に木槌(ハンマー)などが必要となります。
- 滑り止めゴムの押し込みが不十分な場合、使用中に外れるおそれがあるため、最後まで押し込んでください。

■ ストッパー取り付け方法(別売 注文コード:65192226)

1 天板の表面からボルトを最後まで差し込んで取り付けます。

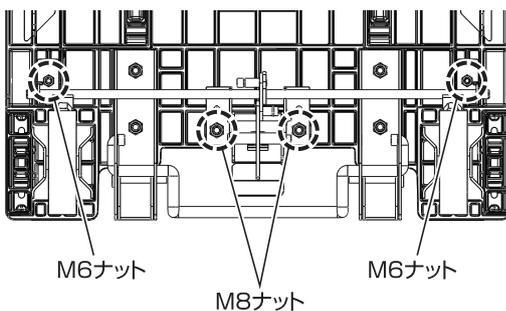


ボルト:M6×25

ボルト:M8×45

ボルト:M6×25

2 台車を裏向きにして、ストッパーの向きと位置を合わせ、穴にボルトを嵌めた後は、ナットでしっかりと締め付けてください。

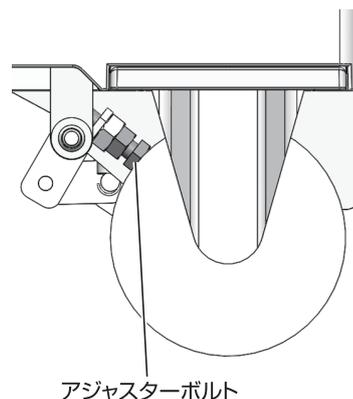


M6ナット

M8ナット

M6ナット

3 ストッパーを取り付けた後は、ブレーキの効きを確認し、弱ければアジャスターボルトで調整してください。



アジャスターボルト

⚠ 注意

- 取り付けには、付属品のM6、M8ボルトを締め付けるためにソケットレンチまたはボックスレンチが必要となります。
- ブレーキの効き具合は、定期的にも必ずご確認ください。タイヤがすり減っている場合など、効きが弱くなっている場合があります。